



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https:sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長(氏名) 佐野 秀一 (TEL) 0463-22-1233
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,617	18.5	10	—	47	—	14	—
2021年3月期第1四半期	2,207	△23.4	△331	—	△311	—	△370	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 19百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △356百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	2.38	—
2021年3月期第1四半期	△60.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	34,765	4,623	13.3
2021年3月期	34,925	4,720	13.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 4,622百万円 2021年3月期 4,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	5.8	△100	—	△60	—	△160	—	—
通期	11,000	6.6	350	551.0	420	71.4	190	40.4	31.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	6,820,000株	2021年3月期	6,820,000株
2022年3月期1Q	696,844株	2021年3月期	696,844株
2022年3月期1Q	6,123,156株	2021年3月期1Q	6,123,156株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延により、依然として企業収益および個人消費は停滞しており、ワクチン接種が始まったものの経済状況は不透明な状態が続いております。主要事業において、飲食を伴うご宴席や集会の機会が制限されているものの、ご葬儀件数は堅調に増加し、売上高は前年同四半期比18.5%増の2,617百万円、営業利益は10百万円（前年同四半期は331百万円の営業損失）、経常利益は47百万円（前年同四半期は311百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、14百万円（前年同四半期は370百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①ホテル事業（ホテル・ブライダル事業）

ホテル事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令され、ご婚礼やご宴会の機会が減少し厳しい状況が続いております。感染防止対策を取りながらご婚礼、ご宴会の施行のお手伝いをさせていただいたこともあり、売上高は前年同四半期比257.4%増の182百万円、営業損失は57百万円（前年同四半期は147百万円の営業損失）となりました。

②式典事業（葬祭・法要事業）

式典事業では、競合環境の激化、新型コロナウイルス感染症の影響による儀式儀礼の小規模化の流れの中、お客様からご用命いただけるよう企業基盤を構築していくことが求められております。2021年4月に一般葬、家族葬対応施設「サン・ライフ小田急相模原駅前ファミリーホール」（神奈川県相模原市南区）を開設しました。また、お客様とのお相談機会を増やすために、web広告、お電話対応、人材教育を強化してまいりました。その結果、ご葬儀件数は増加し、売上高は前年同四半期比13.7%増の1,849百万円、営業利益は前年同四半期比105.0%増の336百万円となりました。

③介護事業（介護事業・有料老人ホーム事業）

介護事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス品質向上に努めました。前年は第一回目の緊急事態宣言の影響によるサービス利用件数の大幅な減少があったため、売上高は前年同四半期比8.2%増の479百万円、営業損失は6百万円（前年同四半期は40百万円の営業損失）となりました。

④その他事業（少額短期保険他）

その他の事業では、各種手数料収入、少額短期保険収入やハウスクリーニング事業の増加等があり、売上高は前年同四半期比21.6%増の105百万円、営業利益は2百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ159百万円減少し、34,765百万円となりました。これは、現金及び預金の減少等による流動資産の減少1,307百万円、土地及び建物等の取得による有形固定資産の増加168百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少49百万円、投資有価証券及び供託金の増加等による投資その他の資産の増加1,027百万円があったことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、30,141百万円となりました。これは、未払法人税等及び引当金の減少等による流動負債の減少16百万円、前払式特定取引前受金及び引当金の減少等による固定負債の減少46百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、4,623百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益14百万円の計上と配当金の支払97百万円、収益認識会計基準等の適用により利益剰余金の期首残高が18百万円減少したことにより、利益剰余金が101百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月10日の「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,899,646	7,571,457
売掛金	562,649	528,676
有価証券	212	213
商品	38,211	39,066
原材料及び貯蔵品	55,104	58,989
預け金	552,901	554,217
その他	328,441	377,321
貸倒引当金	△147	△291
流動資産合計	10,437,018	9,129,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,560,085	6,840,822
土地	8,194,384	8,332,918
その他(純額)	662,936	412,660
有形固定資産合計	15,417,405	15,586,401
無形固定資産		
のれん	1,432,085	1,388,603
その他	227,534	221,918
無形固定資産合計	1,659,619	1,610,521
投資その他の資産		
投資有価証券	2,456,190	3,466,816
供託金	1,123,465	1,178,465
その他	3,864,440	3,826,802
貸倒引当金	△33,055	△33,055
投資その他の資産合計	7,411,040	8,439,029
固定資産合計	24,488,066	25,635,952
資産合計	34,925,085	34,765,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	414,531	374,849
未払金	223,828	234,381
未払法人税等	109,402	38,578
引当金	156,336	84,720
その他	799,594	954,741
流動負債合計	1,703,693	1,687,270
固定負債		
前払式特定取引前受金	26,787,973	26,744,614
引当金	49,587	-
退職給付に係る負債	157,956	156,457
その他	1,505,631	1,553,367
固定負債合計	28,501,149	28,454,440
負債合計	30,204,843	30,141,710

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	4,494,549	4,393,112
自己株式	△685,696	△685,696
株主資本合計	4,670,767	4,569,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,331	53,414
その他の包括利益累計額合計	48,331	53,414
非支配株主持分	1,142	1,146
純資産合計	4,720,241	4,623,892
負債純資産合計	34,925,085	34,765,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,207,779	2,617,056
売上原価	1,991,536	2,075,447
売上総利益	216,242	541,609
販売費及び一般管理費	547,316	530,631
営業利益又は営業損失(△)	△331,074	10,978
営業外収益		
受取利息	2,981	3,122
受取配当金	2,557	609
前受金月掛中断収入	6,111	2,333
不動産賃貸収入	5,643	5,101
助成金収入	965	16,286
その他	10,441	11,492
営業外収益合計	28,700	38,946
営業外費用		
不動産賃貸費用	2,220	1,834
前受金復活損失引当金繰入額	6,645	-
その他	64	489
営業外費用合計	8,930	2,324
経常利益又は経常損失(△)	△311,303	47,600
特別利益		
固定資産売却益	-	19,999
特別利益合計	-	19,999
特別損失		
固定資産除売却損	17,085	166
特別損失合計	17,085	166
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△328,389	67,434
法人税、住民税及び事業税	35,568	32,120
法人税等調整額	6,050	20,719
法人税等合計	41,618	52,840
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△370,008	14,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△370,014	14,589

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△370,008	14,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,080	5,082
その他の包括利益合計	13,080	5,082
四半期包括利益	△356,927	19,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△356,934	19,672
非支配株主に係る四半期包括利益	6	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は有料老人ホームの入居一時金の一部に関して、入居時に収益を認識しておりましたが、合理的に算定した想定居住期間にわたり収益を認識することとしております。また、一部の連結子会社が取扱いをしている前払式特定取引前受金に関して、従来は一定期間経過後収益に計上するとともに、将来の復活に備えるため、過去の実績に基づく復活見込額を前受金復活損失引当金として計上しておりましたが、互助会会員の利用見込みが極めて低くなったと判断される時に収益に計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、利益剰余金の当期首残高は18,055千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	51,156	1,626,826	443,246	2,121,229	86,549	2,207,779	—	2,207,779
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,304	57	186	27,547	7,189	34,736	△34,736	—
計	78,460	1,626,883	443,432	2,148,776	93,739	2,242,515	△34,736	2,207,779
セグメント利益又は 損失(△)	△147,699	163,911	△40,875	△24,663	△1,055	△25,719	△305,354	△331,074

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△305,354千円には、セグメント間取引消去12,418千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△317,772千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	182,854	1,849,529	479,407	2,511,791	105,264	2,617,056	—	2,617,056
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,159	6,369	183	22,712	7,060	29,772	△29,772	—
計	199,013	1,855,899	479,591	2,534,504	112,325	2,646,829	△29,772	2,617,056
セグメント利益又は 損失(△)	△57,641	336,095	△6,634	271,819	2,585	274,405	△263,427	10,978

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△263,427千円には、セグメント間取引消去13,056千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△276,483千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。これによる当第1四半期連結累計期間に与える影響は軽微であります。